

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ビストロ庵タンドール
住 所	島根県松江市朝日町484-4
電話番号	0852-67-5550

事業所番号	3210101048
管理者名	中本 和成
対象年度	令和7年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		3 点
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		3 点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	3	点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
155 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 6 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	9,993	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,684	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	5.9	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-------	---	------------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（ 4 月～ 3 月）

前々々年度（ R4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,876,804	円	利用者に支払った賃金総額	9,678,889	円	収支	▲2,802,085	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	------------	---

前々年度（ R5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,843,613	円	利用者に支払った賃金総額	9,841,389	円	収支	3,002,224	円
-----------------	------------	---	--------------	-----------	---	----	-----------	---

前年度（ R6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	13,324,181	円	利用者に支払った賃金総額	9,708,720	円	収支	3,615,461	円
-----------------	------------	---	--------------	-----------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（ 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している。	☒
※研修名	虐待防止について
研修講師	加藤和美
実施日・受講者数	7 月 18 日 4 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している	☒
※研修、学会等名	日本職業リハビリテーション学会
実施日	8 月 23 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	「本人中心」を問い直す

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☐
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している。	☐
※商談会等名	
主催者名	
日時	月 日
内容	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	3 年 4 月 1 日
人事評価制度の対象職員数	4 名
うち昇給・昇格を行った者	4 名
当該人事評価制度の周知方法	文書及び全体説明、社内グループウェアによる周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISO が制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ビストロ庵タンドール	事業所番号	3210101048
住 所	松江市朝日町484-4	管理者名	中本 和成
電話番号	0852-67-5550	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

島根スサノオマジックホームゲーム会場での飲食ブースに出店しており、2024-2025シーズンのホームゲーム開催日24試合中22試合に参加。常に利用者の皆さんが同行販売している。商品の袋詰め、受け渡し等に参加。又、選手やブスターの方々も時々来店して下さり、交流を深めている。

<目的>

自分たちが作った料理をお客様が直接購入していただくことに立ち会う喜び、就労意欲の向上に繋げること、多くのお客様に触れ合うことでの社会性を身に付けること。

<成果>

観客数も多く、お弁当の売れ数も多い中、忙しく作業が出来た。当初は恥ずかしさから声も小さかったが、回数をこなすことにより段取りもテキパキと出来るようになり、声も大きく出せるようになっている。お客様への対応に自信を持って来ており、市民や球団との交流も進んでいる。

<活動の様子>



シーズンは10月から4月と寒い時が多いですが、雪の日も強風の日も、風邪をひくこともなく、元気に販売出来ました。

連携先の企業等の意見または評価

お客様の満足度向上を意識してメニューを考えて出店していただいている。
 弁当の数も少しずつ増えているが、お客様をお待たせすることが無いように工夫されている。
 球団が目指しているホスピタリティ向上に他の出店者様と同等に、貢献していただいている。
 また、今シーズンはアクアマジックの軽食についても協力していただいた。
 今後はキッチンカーが必要になってくるかもしれませんね。

連携先企業名	株式会社バンダイナムコ 島根スサノオマジック	担当者名	三代 哲也
--------	------------------------	------	-------

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ビストロ庵タンドール	事業所番号	3210101048
住 所	松江市朝日町484-4	管理者名	中本 和成
電話番号	0852-67-5550	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 2024年11月11日、11月21日、11月25日 全利用者6名、職場実習生1名、全職員4名参加 外部講師を招き、接客業として「笑顔」「発声」「コミュニケーション」に役立つことを学ぶ。	<活動の様子>  座学だけではなく、動いたり、ゲーム性を取り入れたり、利用者の皆さんがリラックスして取り組めるようにしていただいた。
<目的> 日々、接客業をされる利用者の皆さんが自信を持ってお客様とコミュニケーションが出来るようになること。個々の社会性の向上にも繋がる。	
<成果> 「自分のことを知り、相手に伝える」「相手のことを考える」自己肯定感を上げ、自信を持ってコミュニケーションをとることを考えるきっかけ作りが出来た。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

最初は何をされるか不安な面持ちの皆さんも、回を重ねるごとに積極的に取り組んでくださいました、毎回宿題を出したのですが、きちんと取り組み最終日には積極的に発表もしていただきました。新しいことに果敢に挑む職場の体制が、従業員の皆さんにも良い刺激を与えていると感じています。是非、継続的にコミュニケーションワークを取り入れていただきたいと思います。	
連携先企業（担当者）	コミュニケーションワーク講師 岡田 ゆう子

利用者からの意見・評価

・わずかなことでも自分をほめることでポジティブになれることがわかった。 ・何ごとにも完璧にできなくても失敗をおそれず楽しめば良いことを学んだ。 ・自分をほめることをみつけるのがむずかしかった。 ・もう少し表情を意識するべきだな、と思った。 ・発声練習、呼吸法を続けて行きたい。 等
--